

分科会名／みんなで取り組もう！～『服育（ふくい）』衣服のちから～
形態／講座・ワークショップ・実験の紹介
講師／大谷万喜さん（ナゴヤ学生服代表取締役、愛知服育研究会代表理事）
世話人／吉岡 真実さん（中川区保護者）

<内容・目的>

私たちは普段学校で、制服をテーマにして着ることの意味やルール、マナー、衣服が人に与える印象や責任などのお話をする『服育セミナー』を行っています。一般的に、普段着用する衣服や大人の服装にも通じる内容ですので、この衣服の力をぜひご家庭でも知っていただき、ご自身の服装に活かしていただいたり、子どもたちの服装についても、安心安全で豊かに暮らしていくために大人から伝えておきたいことについて一緒に考えていきたいと思います。

また、環境を学び行動へ移す服として、エコを実践する取り組みとしての服の選び方や着方について、遊びながら考える「すごろく」のご紹介をします。

（使用したすごろくは差し上げます。子どもと楽しんで学んで下さい。）

この他に、環境と衣服を考えるきっかけづくりとして、子どもたちの夏休みの自由研究にも活用できる簡単なペットボトルのリサイクル繊維実験の意味と方法をお伝えさせていただきます。

衣服を様々な角度から捉え、子どもたちの豊かな心と体を育む『服育』という活動を知っていただき、生活に活かしていただけたらと思います。

<流れ>

1. 講座 『服育セミナー』学校で実際に子どもたちにお話している内容を、スライドを見ながら説明します。
(休憩10分)
2. ワークショップ 『制服の一生すごろく』
(内閣府 消費者教材資料表彰2017 優秀賞受賞)
愛知県のあいち環境学習推進課から、私たちが講師として派遣されるときに、授業で使用するものです。衣服のライフサイクル(製造、着用、リサイクル、廃棄)を知り、生活の中で服エコを実践するためにどのような行動ができるのか、一緒に考えてみましょう。
(休憩10分)
3. 実験紹介「夏休みの自由研究に役立ちます」
4. 質疑応答、交流